

NEWS RELEASE

ダイニチ工業、2019年3月に コーヒー豆焙煎機を台湾へ輸出します。

ダイニチ工業(株)[新潟市南区:社長 吉井久夫]は、2019年3月にコーヒー機器自社ブランド「カフェプロ」のコーヒー豆焙煎機「MR-120」を台湾へ100台輸出いたします。コーヒー豆焙煎機の台湾への輸出は、2014年3月に100台出荷して以来5年ぶりです。

台湾へは以前より石油暖房機器や加湿器の輸出をしており、コーヒー機器以外にも台湾とのつながりがあります。

ダイニチのコーヒー機器ブランド「カフェプロ」



コーヒー豆焙煎機 MR-120

45,000台湾ドル
※1台湾ドル=約3.6円

【特徴】

電気式(AC110V)
煎り加減設定は12段階
1回の焙煎で約100gの焙煎豆ができる

ここがポイント!

- ①コーヒー豆焙煎機の輸出は2014年3月以来5年ぶり。
- ②輸出台数は100台。
- ③台湾へはコーヒー豆焙煎機のほか、石油暖房機器、加湿器も輸出。

【輸出の理由】

■台湾でのコーヒー人気の盛り上がり

国際的なコーヒー展示会開催や、日本のコーヒー書籍の翻訳版が出版されるなど、台湾でもコーヒーブームが起きています。

コーヒー好きの個人や、カフェなどのプロユースの需要増加を期待しています。

→添付資料

【販売拡大への取り組み】

■展示会への出展

現地代理店*を通じ、台湾で開催される展示会(台湾国際コーヒー展)に出展し、カフェプロを紹介しています。

*現地代理店: 宏得利貿易有限公司 <http://www.hondly.com.tw/>

■CAFEPRO ショップの展開

現地代理店は「CAFEPRO ショップ」を台北に2店舗展開しています。店内ではカフェプロで焙煎したコーヒーだけでなく軽食も提供しており、来店者にカフェプロを知ってもらう場となっています。



添付資料 補足

【カフェプロについて】

カフェプロは「鮮度のよいコーヒーを手軽に楽しみたい」との要望から開発されました。日本国内で 1997 年に焙煎機能付きコーヒーメーカー、2000 年にコーヒー豆焙煎機の販売を開始し、現在まで販売を続けています。

家庭用電源で使用できる焙煎機で、職人技とされていた焙煎技術を、ボタン操作だけで自動で適度に焙煎できるようにしたのが特徴です。

また大型のガス式焙煎機と比べてコンパクトであり、大きな排気設備も不要であることから設置も簡単です。

台湾へはほかにも、2017 年 2 月に焙煎機能付きコーヒーメーカーを 200 台輸出しています。

カフェプロ専用サイト：<https://www.dainichi-net.co.jp/cafeopro/>

【台湾展示会について】

台北では毎年「台湾国際コーヒー展」が開催されています。2018 年 11 月は、約 260 のコーヒー関係企業が出展し、展示会全体では 20 万人近く※が来場しています。

カフェプロも出展し、多くの来場者で賑わいました。

※出所：台湾国際コーヒー展 公式Webサイト
<https://www.chanchao.com.tw/coffee/history.asp>

【コーヒー書籍について】

日本国内で出版された『極める 楽しむ 珈琲事典』（西東社、2017 年）の翻訳版『成為咖啡生活家』（楓書坊、2018 年）が台湾で発売され、コーヒーに対する関心は高まっています。



焙煎機能付き
コーヒーメーカー
MC-503

※いずれも
日本モデルです。



コーヒー豆
焙煎機
MR-101



カフェプロのブースの様子。実際にコーヒーを提供し、おいしさを体験していただきました。



左：日本版



右：台湾版

産地別生豆の特徴やコーヒーの淹れ方、コーヒー機器の使い方などを詳しく紹介しています。